長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

長野県林務部森林づくり推進課

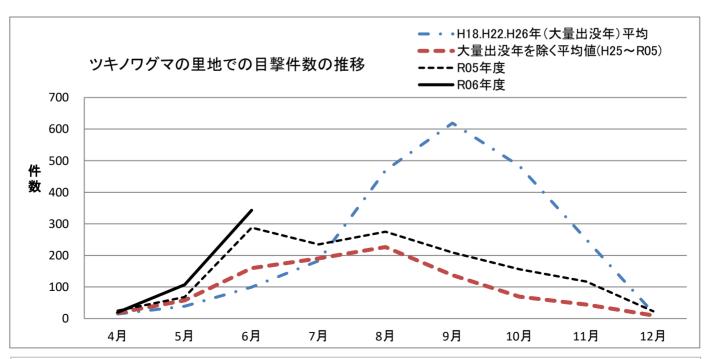
ツキノワグマの里地での目撃件数の推移

<u> </u>	<u> </u>	, C 07 II	手口外	ロンコ圧リタ								
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	3, 362	16 (18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	ı	1, 591	14 (14)
H25	14	41	84	89	147	85	12	4	0	-	476	3 (3)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	ı	1, 575	31 (32)
H27	25	47	134	142	177	37	12	8	0	0	582	6 (6)
H28	12	60	137	163	171	118	87	31	6	1	786	9 (9)
H29	11	20	91	151	152	128	22	20	3	2	600	6 (7)
H30	22	92	183	158	182	55	23	18	9	7	749	5 (5)
R01	18	64	196	291	334	207	125	68	16	13	1, 332	8 (8)
R02	16	50	151	264	411	309	126	86	14	10	1, 437	12 (12)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	3	1, 059	16 (16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	14	770	8 (8)
R05	25	68	288	235	275	209	156	117	23	10	1, 406	11 (12)
R06	20	107	343		·						470	4 (4)

[※]人身被害は林内での発生も含む。

網掛けのセルは大量出没年。

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
H18. H22. H26年 (大量出没年) 平均	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2, 176	20. 3 (21. 3)
大量出没年を除 く平均値(H25~ R05)	18	58	160	191	227	138	70	44	10	914	8.4(8.6)
R05年度	25	68	288	235	275	209	156	117	23	1, 396	11 (12)
R06年度	20	107	343							470	4 (4)



- ・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。
- ・大量出没年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。

地域別の里地での目撃件数

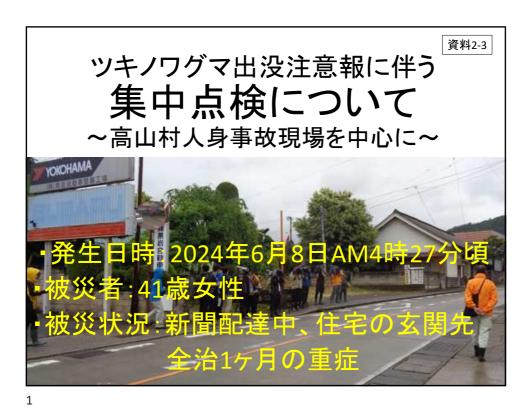
	地域がの主地での日季に数											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 - 3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
佐久地域	1	8	20								29	0
上田地域	0	3	1								4	0
諏訪地域	0	2	3								5	0
上伊那地域	0	0	20								20	1(1)
南信州地域	0	5	13								18	0
木曽地域	1	36	91								128	0
松本地域	5	10	28								43	1(1)
北アルプス地域	1	22	69								92	0
長野地域	2	9	54								65	1(1)
北信地域	10	12	44								66	1(1)
計	20	107	343								470	4 (4)

(人身被害件数は6月末現在)

資料2-2

集中点検実施状況まとめ(期間:6月11日(火)~7月12日(金))

点検実績 地域振興局 (市町村 数)		点検実績 (地域数)				点検者数	点検事項						
	点検実績 (市町村 数)		実施期間	計	県	市町村・実 施隊	クマ対策員	鳥獣保護 管理員	その他 (地権者、 警察等)	計	誘引物	ヤブ等	わな
佐久	5	10	R6. 6. 20 ∼6. 28	78	27	26	10	2	13	17	8	7	2
上田	2	3	R6. 6. 28 ~7. 1	13	3	3		7		7	3	3	1
諏訪	1	3	R6. 6. 27	30	12	15		3		9	3	3	3
上伊那	6	16	R6. 6. 11 ~7. 1	97	25	48	16		8	47	16	16	15
南信州	9	20	R6. 6. 13 ~7. 5	70	16	41	9		4	35	11	11	13
木曽	3	3	R6. 6. 19 ∼7. 5	18	8	7	2		1	6	3	3	
松本	7	18	R6. 6. 25 ∼6. 27	101	18	49	15	10	9	32	13	16	3
北アルプス	4	8	R6. 6. 19 ∼7. 10	26	8	6	8	4		16	8	7	1
長野	4	5	R6. 18 ∼6. 28	49	6	5	5	1	32	7	3	2	2
北信	6	24	R6. 27 ∼7. 10	95	38	33	24			27	5	8	14
計	47	110		577	161	233	89	27	67	203	73	76	54







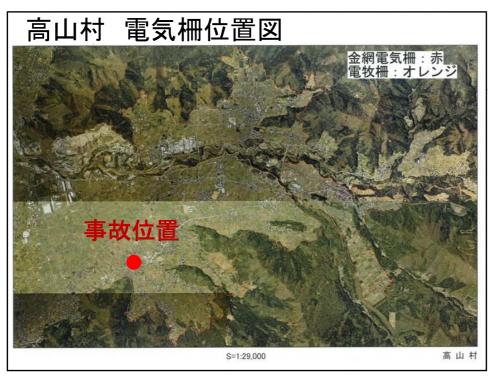


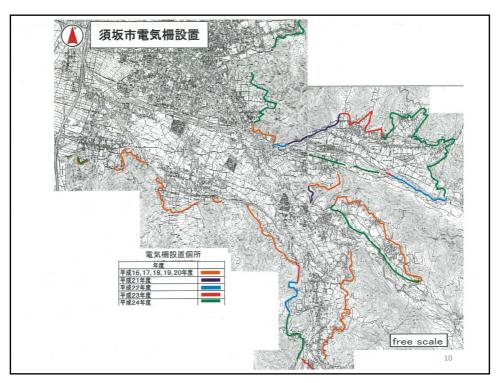












高山村クマ人身事故要因

- ・特に誘引物なし
- ・分散中の若いクマが住宅地に侵入(推測)
- ・住宅の庭木やササの藪に潜んでいた
- ・早朝の非常に偶発的な事故

類似の事例①

- ・2012年10月5日 長野市街地にクマ出没
 - ✓2歳の若いオスグマが市街地に侵入
 - ✓ 胃内容物・体毛分析→自然のみの食性
 - ✓ 分散の過程で偶発的に侵入

11

類似の事例②

- •2022年8月7日15:20 南箕輪村で事故発生
 - ✓回覧板を届けに来た女性が被災
 - ✔ 夜間:トウモロコシ畑、日中:住宅の庭





12





集中点検の意義

- ・クマ出没要因の解明
- ・点検箇所に合ったクマ対策の検討と実施
- ・鳥獣対策チームや市町村担当者の技術向上

15